

第31期 / 第2四半期 事業報告書

平成27年11月1日から平成28年4月30日まで

Vol.
27

ロングライフ神戸青谷



リゾート事業とのシナジー効果で ブランド力を向上し、 中長期的な事業拡大を目指します。

Q 第31期上期の業績・取り組みを総括してください。

はじめにこのたびの熊本地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

株主の皆様におかれましては、日頃より当社グループの事業に多大なるご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

当期は、2015年4月の介護保険制度改正によりサービス全体で報酬が引き下げられたことや、新規の顧客獲得が予定数に届かなかったこと、また、2015年10月にオープンいたしました「ロングライフ阿倍野」及び、新規事業であるリゾート事業の立ち上げに伴い、人件費・広告宣伝費等を先行投資したことにより、4期ぶりに減収減益となりました。人材の確保については、人材不足が慢性化する業界にあって、当社グループでは採用のみならず、独自の研修制度を通じて高い志とスキルを持った人材を育成するとともに福利厚

生や処遇制度を整備することで優秀な人材を自ら育て、長く雇用する仕組みを整えています。

ホーム介護事業では、「ロングライフ阿倍野」の販売に注力いたしました。CMの効果もあり、お客様に高くご評価いただいております。また在宅介護事業では埼玉県、愛知県、京都府に3つの新拠点を開設した他、福祉用具事業においても拠点を増やし、全国へと事業エリアを拡大しています。その他リゾート事業や海外展開など新規事業も着実に推し進めました。



ロングライフホールディング株式会社
代表取締役社長

遠見正一



～ 経営の基本理念 ～

ロングライフグループのサービスを受けていただき、「ロングライフはこんな事までしてくれるのか!」と感動してくださるお客様を一人でも多く作ります。



人生をもっと楽しく!もっと素適に!

ロングライフホールディング株式会社



証券コード：4355

Q 31期下期の取り組み計画を教えてください。

上期に先行投資に力を注いだ分、下期はそれを弾みに業績の回復とさらなる伸長を目指します。ホーム介護事業では、大阪府寝屋川市で建設を進めている「ロングライフ寝屋川公園(仮称)」に続き、神奈川県川崎市でも「ロングライフ宮崎台(仮称)」の新設を決定しました。引き続き関西圏のみならず首都圏へも事業を拡大し、全国での展開を目指します。また「ロングライフ阿倍野」では、リゾート感溢れる都市型有料老人ホームというコンセプトが好評を博しており、ご夫婦での入居希望が増えていることに応え、二人用居室を増やす改装を実施しています。今後もお客様のご要望や時代の変化を敏感に察知し、ニーズを先取りした魅力ある有料老人ホームをつくっていきつくりたいです。

福祉用具事業では上期に続いて下期にも広島県、宮城県に新拠点を開設し、営業エリアを拡大します。

さらにリゾート事業では、やや建設計画が遅れていた国内4カ所のリゾート施設のうち北海道・函館、および大分県・由布院でいよいよ今秋開業を迎える予定です。すでに契約数が30組を超えるなど関心の高さは想像以上です。1年以内に200組の契約成立を目標に、営業人材を増やして営業活動を活発に行っております。加えて海外事業でも、中国・韓国での事業を強化していきます。

Q リゾート事業に挑戦する狙いを聞かせてください。

第一には、年齢を重ねても元気に人生を楽しむ人が増える中、そうした方々に上質なリゾートを提供し、喜んでいただきたいという思いです。アクティブシニアのニーズに応えるだけでなく、40代、50代といったより若い世代から当社グループの主事業である有料老人ホームの潜在顧客囲い込みも考えております。

第二にリゾート事業は、当社グループのブランド力向上にも大きく寄与します。リゾート事業でブランド力を高めることが、有料老人ホームの入居希望者の増大や、さらには人材採用にもシナジー効果を発揮すると考えています。

第三に、従業員のモチベーション向上と活性化においてもリゾート事業の効果は小さくありません。当社グループの各施設で働く従業員がジョブローテーションの一環としてすばらしい自然に囲まれたリゾート施設で就業することで、心身共にリフレッシュし、新たな気持ちで専門の仕事に向き合えるようになり、従業員の離職を防ぐ手だての一つになると考えています。

Q 中長期的な計画を聞かせてください。

中長期的な発展を見すえ、最も重視しているのがブランド力の向上です。質の高いサービスを提供する富裕層向け有料老人ホームを展開する企業グループとして業界トップの地位を揺るぎないものにするだけでなく、介護サービス業界全体のイメージ向上に貢献することも当社グループの役割だと考えています。

株主の皆様におかれましては、今後もなお一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長
遠藤 正一



ロングライフリゾートがいよいよ本格スタート

2016年秋「ヒルズテラス函館」「由布院別邸」が開業予定

着々と建設を進めている函館、由布院、石垣島、箱根の4つのリゾート施設のうち、2016年秋に北海道の「ヒルズテラス函館」と大分県の「由布院別邸」が開業する予定です。従来からの介護サービスに留まらず、アクティブに人生を楽しむお客様に新たなサービスを提供するロングライフグループのリゾート事業がいよいよ本格始動します。



ヒルズテラス函館

草原が広がる7万坪もの広大な敷地

2016年秋
開業予定



由布院別邸

由布岳を望む2000坪の敷地にわずか7室のヴィラとコテージ

2016年秋
開業予定



箱根別邸

芦ノ湖を一望できる高台にある5000坪の敷地に8室のみ



コールテラス石垣島

オーナー様だけに開放された2つのプライベートビーチ

1 広大な敷地に限られた居室のぜいたく設計 大自然に溶け込み「心とける」感動を提供

ロングライフリゾートの最大の特長は、いずれの施設も風光明媚な広大な敷地に限られた数のヴィラを点在させるぜいたくな空間設計にあります。まるで別天地のような景色の中でプライバシーを確保しつつ、自然と一体になる「心とける」感動を味わっていただけるリゾートを実現しています。

2 多彩なアクティビティと利便性 施設ごとに違ったリゾートライフを楽しめる



活動的な毎日をご過ごされたいお客様のために、いずれの施設にも自然や地域の特性を生かしたさまざまなアクティビティを用意しています。また自然豊かな立地にありながら都市から行きやすい利便性の良さも特長です。四季折々で気軽に各施設を訪れ、それぞれに違ったリゾートライフを楽しんでいただくことができます。

3 介護サービスのノウハウ・人材・ネットワークで 満足と安心の両方を実現するおもてなし

富裕層向けの介護サービス事業を通じて培ってきたノウハウ・人材・ネットワークを最大限活用し、他にはない上質のサービスを提供します。地元食材を用いて料理人が腕を振るった本格的な料理、身体ケアも可能なスタッフによる手厚いサービスなど、満足と安心の両方でロングライフだけのおもてなしを実現します。



TOPICS 1 テレビ、および映画館で コマーシャルを放映

ロングライフグループを多くの方々に知っていただくため、2016年3月12日(土)～21日(月)の間、近畿地方の2府4県全域でテレビコマーシャルを放送しました。CMにはイメージパーソナリティを務める夫婦デュオ「チェリッシュ」のお二人が登場し、「生涯リゾート生活」をテーマにリゾート事業や有料老人ホーム事業の魅力を伝えました。また4月2日



(土)からは10月1日(土)までの予定で、大阪府の大阪ステーションシネマ、および東京都の109シネマズ二子玉川の2つの映画館で、上映前コマーシャルとして当グループの映像を放映しています。

TOPICS 2 「第3回ロングライフ市民大学」を開催

これまで2回にわたって開催してきた「ロングライフ市民大学」が、今回の開催を期待する多くの声に応え、2016年4月から第3回をスタートさせました。今回も各界から専門家を招き、全6回の講座で長寿時代を生きるヒントをお伝えします。4月14日(木)に開催された1回目の講座には、淀川キリスト教病院の柏木哲夫理事長を講師に招き、「人は死を背



負って生きている」をテーマに「寄り添い、気持ちを理解するケア」の重要性についてご講演いただきました。さらに今後、美容や音楽、健康などをテーマに講座を開催していきます。

TOPICS 3 エルケア株式会社 訪問介護の 3つの新拠点をオープン

2016年3月に埼玉県、愛知県、京都府の3つのエリアに新たな拠点をオープンしました。エルケア株式会社が創業以来31年間にわたって積み重ねてきた実績と信頼を礎に各エリアで訪問介護サービスを提供し、地域の皆さまの「自分らしい暮らし」をサポートしていきます。

埼玉 エルケア越谷ケアセンター
埼玉県越谷市千間台西3-1-30 エース千間台ビル2階
TEL:048-973-7923

愛知 エルケア栄生(さこう)駅前ケアセンター/ケアプランセンター
名古屋市西区則部新町4-3-12 NRS サクマBuild6階
TEL:056-561-1707

京都 エルケア長岡京ケアセンター
京都府長岡京市馬場1-1-41 ハイツハーベスト1階
TEL:075-957-6673

TOPICS 4 日本ロングライフ株式会社 有料老人ホーム新設を決定

東急田園都市線、「宮崎台駅」から徒歩5分の非常に便利な立地に、「ロングライフ宮崎台(仮称)」を2018年4月にオープンいたします。居室数は40室を予定しております。首都圏では4ホーム目の開設となり、これを機に首都圏での事業拡大を図って参ります。



私たちがご紹介します。ロングライフの事業

ロングライフグループの各事業について、社員をご紹介します。

Vol.3 ホーム介護事業

お客様の人生経験や好きなことを大切にし ニーズに合ったイベントを企画

GFC室では、ロングライフグループの「グッドフィーリング(顧客満足)」の思想に基づいて、すべてのホームを対象にお客様の日々の生活から非日常の楽しみまでをプロデュースしています。ホームごとにしつらえやインテリアを選定したり、入居されているお客様に楽しんでいただけるイベントを企画・開催するのが主な役割です。

中でも私は各ホームで催すイベントの企画を担当しています。観劇や外食、外出といった日常を離れた娯楽イベントから、おいしいお菓子を取り寄せてお茶会を開くなど日常生活を彩るささやかな楽しみまで、企画するイベントはさまざまです。心に留めているのは、お客様の人生や文化、背景を尊重し、ニーズに沿ったサービスを提供すること。「本物」を追求することが大切だと考えています。ホームで催す演劇や

日本ロングライフ株式会社
GFC(グッドフィーリングコーディネーター)室
寺澤 怜加

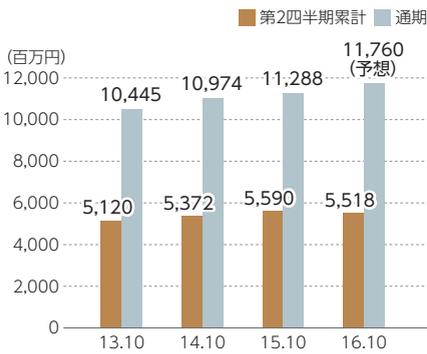


コンサートには現在活躍するプロを招き、豊かに人生を重ね、目や耳の肥えたお客様にもご満足いただけるものになっています。お客様の人生経験やご入居前の生活、好きなことを大切にしながら、ホームでの毎日に楽しみや充実感を感じていただきたい。そんな思いで企画を考えています。

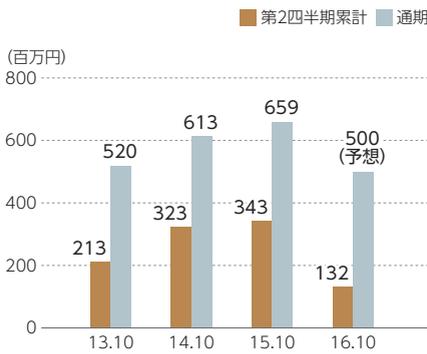
とはいえホームによってニーズも、またお客様のお体の状態もさまざま、それぞれにふさわしいイベントやサービスを考えるのは容易ではありません。各ホームを巡回する際にお客様やスタッフと話したり、また私自身ホームのケアスタッフとして4年半お客様に接した経験も糧になっています。自室にこもりがちだったお客様がイベントに参加し、本来の明るさや積極性を取り戻していかれる。そんなお客様の笑顔を見るのが一番のやりがいです。

財務ハイライト

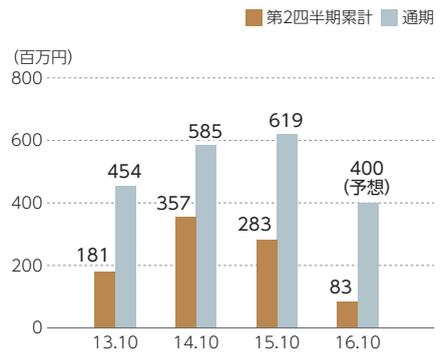
売上高
5,518百万円 ↓
 前年同期比 **1.3%減**
 (72百万円減)



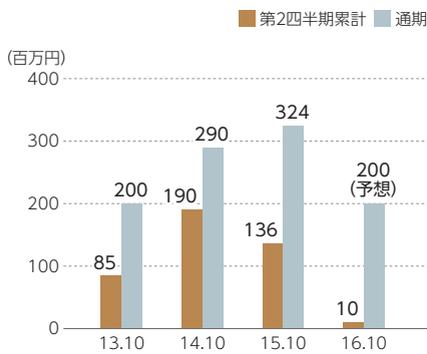
営業利益
132百万円 ↓
 前年同期比 **61.4%減**
 (210百万円減)



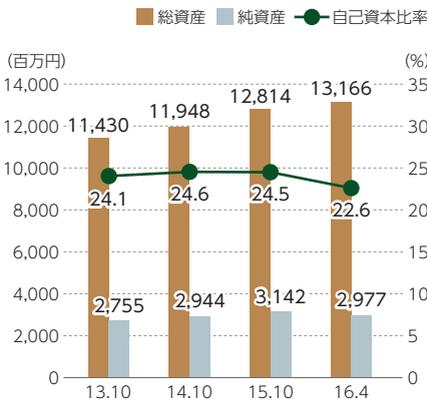
経常利益
83百万円 ↓
 前年同期比 **70.6%減**
 (199百万円減)



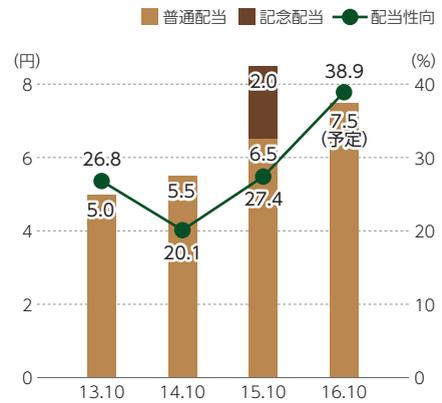
四半期純利益
10百万円 ↓
 前年同期比 **92.4%減**
 (126百万円減)



総資産・純資産・自己資本比率



1株当たり配当・配当性向



POINT 1 売上高

介護報酬改定の影響、及び人材不足を要因とした新規顧客の獲得が予定数に届かなかったことから、在宅介護事業及び福祉用具事業が減収となり、売上高は55億18百万円、前第2四半期累計期間より72百万円減少しております。

POINT 2 営業利益

売上高の減収、新設ホーム「ロングライフ阿倍野」及び新規事業であるリゾート事業の立ち上げに伴い人件費・広告宣伝費等を先行投資したことから、営業利益は1億32百万円となり、前第2四半期累計期間より2億72百万円減少しております。

POINT 3 経常利益、四半期純利益

売上高の減収及び人件費・経費の先行投資により、当第2四半期累計期間の経常利益は前年同期比1億99百万円減の83百万円となり、四半期純利益は前年同期比1億26百万円減の10百万円となりました。

グループ企業の紹介



会社概要

■ 会社概要 (平成28年4月30日現在)

商号 ロングライフホールディング株式会社
大阪本社 〒530-0015
大阪市北区中崎西二丁目4番12号
梅田センタービル25階
東京本社 〒103-0022
東京都中央区日本橋室町四丁目3番18号
東京建物室町ビル3階
代表者 代表取締役社長 遠藤 正一
設立 1986年9月(昭和61年9月)
資本金 1億円
事業内容 ロングライフグループの経営管理並びに
それに付随する業務

お客様相談室…………… **0120-550-294**
(ホーム見学受付)

■ 役員 (平成28年4月30日現在)

代表取締役社長 遠藤 正一
代表取締役副社長 北村 政美
専務取締役 小嶋(桜井) ひろみ
常務取締役 瀧村 明泰
取締役 田中 嘉彦
取締役 倉智 英吉
常勤監査役 小山 宗重
監査役 富田 英孝
監査役 矢田部 三郎
常務執行役員 中村 康史

■ 顧問 (平成28年4月30日現在)

特別顧問 生田 正治 (日本郵政公社初代総裁/株式会社商船三井元会長)
顧問 今村 洋二 (前関西医科大学附属枚方病院院長/柏友会梅葉病院院長)

株式情報

■ 株式の状況 (平成28年4月30日現在)

発行可能株式総数 25,200,000株
発行済株式の総数(自己株式877,905株を含む) 11,190,400株
株主数 4,872名

■ 大株主 (上位10名) (平成28年4月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
遠藤 正一	1,509,200	14.63
北村 政美	1,300,000	12.60
ロングライフ総研株式会社	1,105,600	10.72
ロングライフ取引先持株会	310,800	3.01
株式会社関西アーバン銀行	200,000	1.93
ロングライフホールディング従業員持株会	182,500	1.76
ロングライフホールディング役員持株会	130,100	1.26
株式会社社陽銀行	100,000	0.96
住友生命保険相互会社	100,000	0.96
小山 龍子	85,800	0.83

(注) 持株比率は自己株式数(877,905)を控除して計算しております。

■ 株主メモ

事業年度 毎年11月1日から翌年10月31日まで

定時株主総会 毎年1月

基準日 定時株主総会 毎年10月31日
期末配当 毎年10月31日
中間配当を行う場合 毎年4月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 (お問い合わせ先) 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
☎ 0120-094-777 (通話料無料)

公告方法 電子公告 <http://www.longlife-holding.co.jp/>
やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所 東京証券取引所 [JASDAQ]

■ 株主分布状況 (平成28年4月30日現在)



個人・その他	4,789名	98.30%
自己名義株式	1名	0.02%
金融機関	5名	0.1%
金融商品取引業者	17名	0.35%
その他の法人	42名	0.86%
外国法人等	18名	0.37%



1単元未満	131名	2.69%
1単元以上	3,209名	65.87%
5単元以上	596名	12.23%
10単元以上	740名	15.19%
50単元以上	89名	1.83%
100単元以上	84名	1.72%
500単元以上	13名	0.27%
1,000単元以上	6名	0.12%
5,000単元以上	4名	0.08%

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

WEB

IR・投資家情報ページ

<http://www.longlife-holding.co.jp/ir/>



UD FONT